

DIGI シュミット転送用ソフト ProVista 簡易操作マニュアル

1. インストール

A: ソフト CD をパソコンで起動します。マイコンピュータから CD ドライブを選択し、CD 内の「ProVista_setup_V_****」をダブルクリックすることで、インストールが開始します。(****は数値が入ります)

B: 「Wellcome to the ProVista Setup Wizard」(ProVista インストール開始画面) を表示しますので、“next” をクリックすると画面が先に進みます。

C: 次に、「License Agreement」(ランセンス認証) を表示しますので、下部の「I accept the agreement」を選択することで、“next” が選べるようになり、クリックすることで画面が先に進みます。

D: 「Select Destination Location」(インストール先設定) が表示されるので、設定を変えない場合はそのまま “next” を選択します。

E: 「Select Start Menu Folder」(スタートメニューの作成) が表示されるので、設定を変えない場合はそのまま “next” を選択します。

F: 「Select Additional Tasks」(アイコンの作成) を表示されるので、設定を変えない場合はそのまま “next” を選択します。

G: 「Ready to Install」(インストール開始) が表示されるので、“Install” でインストール開始します。“Finish” でインストールを完了します



インストールが完了しますと、画面上にこのアイコンが表示されます。(図1)

(図1)

2. ソフトの起動について

- ・画面上のアイコンをダブルクリックする (図1)
- ・Windows のスタート→すべてのプログラム→ProVista を選択する (図2)
- ・出力データ PVO ファイルをダブルクリックする (図3)



(図2)

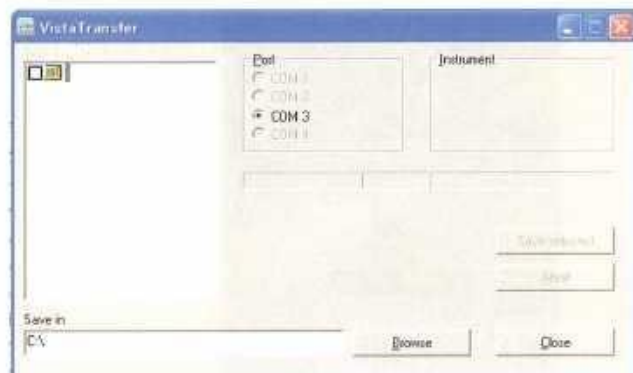
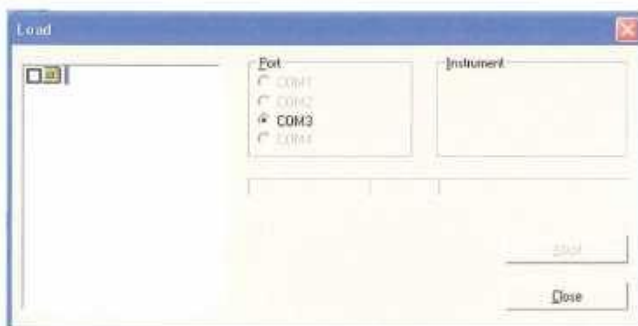


(図3)

3. データの転送

データの転送を行う方法

DIGI シュミットとパソコンを接続ケーブルにてつなぎ、その後メニューの File→Load からデータを取り込む。もしくはツールバーの一番左のアイコン「Load」を選択するか、ツールバー一番右のアイコン「VistaTransfer」を選択します。



上記どちらかの画面が表示されます。

その時、DIGI シュミット本体のメニューから「データシュツリョク」を選択します。

ポート番号が正しい時には、プロフォメーター本体内のデータ一覧が表示されます。

一覧よりデータを選択することで、パソコンへ「ProVista ファイル」として、出力されます。

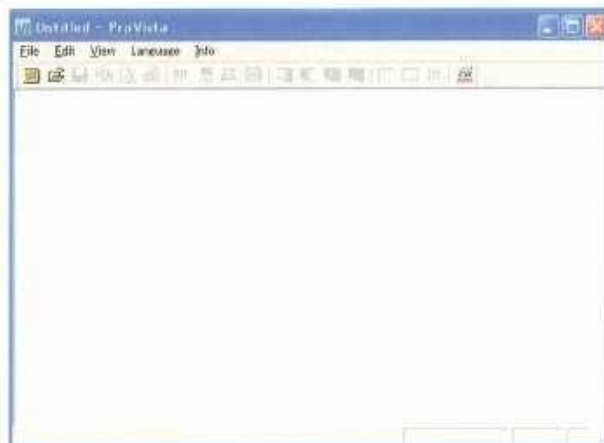
※DIGI シュミットとパソコンをつなぐ際の注意点

DIGI シュミットからパソコンへの接続した際、ポートの確認が必要となります。

ポートの確認方法は Windows メニューから、コントロールパネルのシステムを選択しハードウェアタブから、デバイスマネージャを選択します。

デバイスマネージャ内からポート (COM と LPT) を選択すると、現在接続されているポート番号 (例 : COM 3) が表示されます。

Provista はポート番号 : COM 1 ~ 4 に対応していますので、COM 1 ~ 4 の端子に接続してください。接続に成功しますと、DIGI シュミットを認識致します。



4. 画面の見方






メニュー項目は File (選択)、Edit (編集)、View (閲覧)、Language (言語)、Info (情報) から成っております。

またその下のアイコンは、各メニューに対応しております。

File を選択しますと、メニューが展開します。

Load		ファイルを読み取ります	DIGI シュミットに記録されたデータを一つずつ出力します
Open		ファイルを開きます	パソコンにある ProVista のデータを開きます
Create Summary...		データをまとめます	DIGI シュミットとプロフォメーターのデータをまとめます
Save		データの保存	データを保存します








Save As	名前を付けて保存	データに名前を付けて保存します
Copy 	データのコピー	データをコピーします Word などその他ソフトに貼り付けが行えます
Print 	プリントアウト	プリンターより印刷します
Print Preview 	印刷プレビュー	印刷の見本を表示します
Print Setup	プリンター選択	印刷を行うプリンターを選びます
Pageborder	余白設定	印刷した際の余白を設定します (mm 単位)
1... 2... 3...	最近開いたデータ	ProVista にて最近開いたファイル名を表示します
VistaTransfar	VistaTransfar を開く	VistaTransfar を使用します
Exit	終了	ProVista を終了します

Edit を選択するとメニューが展開します

Title and remarks...	名前や日付の編集	測定 No、日付、名前、その他を編集できます。
Limit and range...	表示範囲および平均ラインの有無を設定できます	R 値の表示範囲を設定できます。 平均値のラインをグラフ上に描きます。
Settings...	各種換算および補正が設定できます。	換算曲線、表示値、角度補正、形状補正、材齢補正、中性化補正が設定できます。
Enable value charge	使用しません	

View を選択するとメニューが展開します

Chart 	グラフの表示	棒グラフを表示します
Values 	値の表示	グラフに、R 値を表示します
Statistics 	統計表示	測定した統計データを表示します
Table 	テーブル表示	測定した R 値を一覧表にします

Grayscale 	グレイスケール	グラフの色を灰色に変更します(値が大きいほど濃く表示します)
Inverted Grayscale 	グレイスケールの反転	グラフの色を灰色に変更します(値が小さいほど濃く表示します)
Green/Red shades 	緑と赤のカラーグラフにします	グラフの色を緑色に変更します(最低限かぶりが設定されていると満たない数値は赤色になります)
Spectral colors 	9色のカラーグラフにします	グラフを値の大きさによって、色別に区分します。
Axis 	X軸、Y軸の表示	グラフにX軸線、Y軸線を表示します
Frame 	フレームの表示	グラフを枠組みで表示します
Grid 	グリッドの表示	グラフに格子線を表示します
✓ Tool bar	ツールバーの表示	ツールバーの表示の有無を設定します。
✓ Status bar	ステータスバーの表示	ステータスバーの表示の有無を設定します。


Language を選択しますとメニューが展開します

✓ English	英語で表示	英語の表示します
Français	フランス語で表示	フランス語で表示します
Deutsch	ドイツ語で表示	ドイツ語で表示します

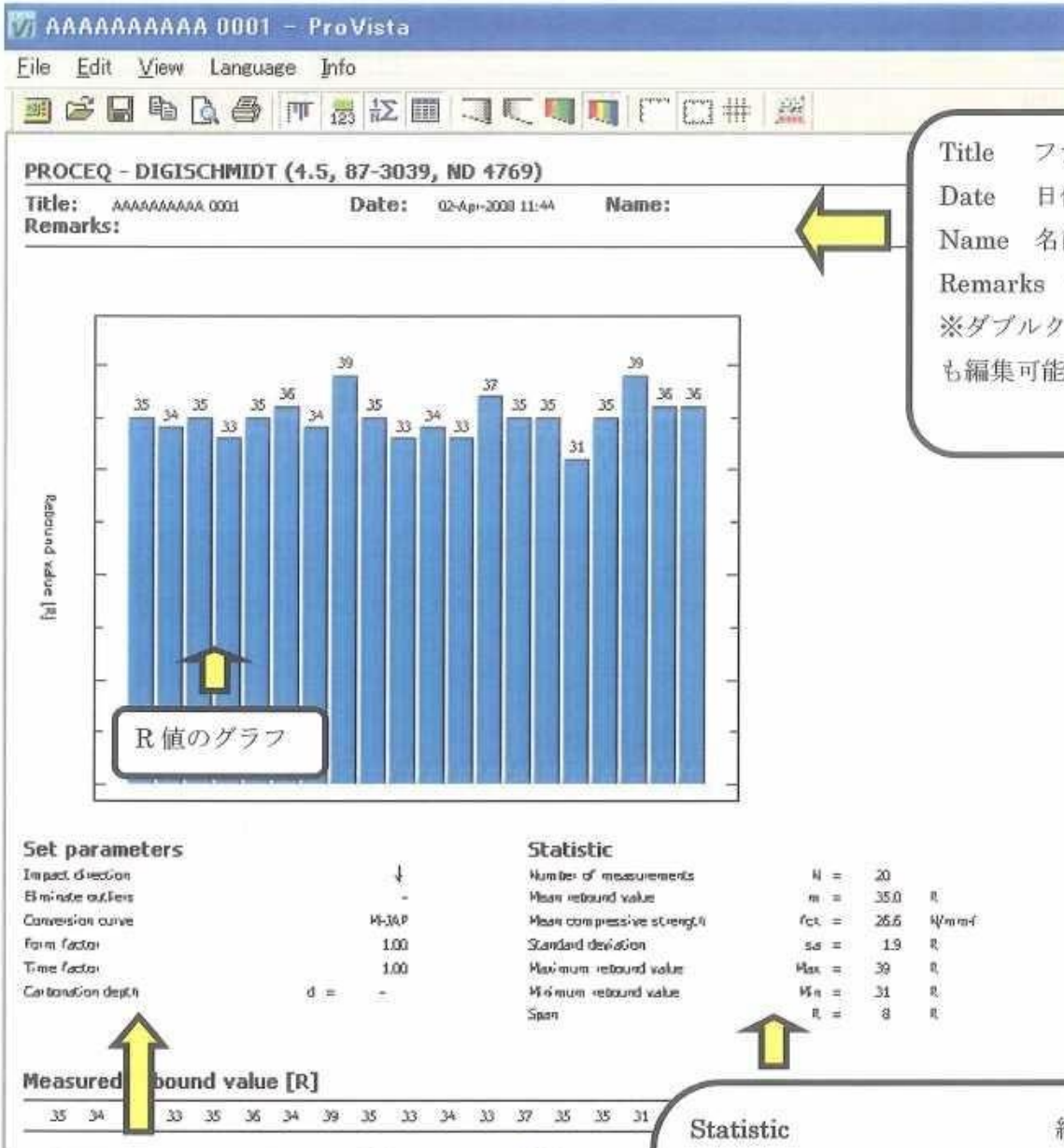
Info を選択しますとメニューが展開します

About Provista...	Provista の情報表示	ProVista のバージョンおよびメーカーの表示
-------------------	----------------	---------------------------

その他

VistaTransfer 	VistaTransfer を開きます	VistaTransfer によってデータを一括で出力します
---	---------------------	--------------------------------

測定画面の見方 (統計的に測定モード)



Title ファイル名
 Date 日付
 Name 名前
 Remarks 備考
 ※ダブルクリックでも編集可能

R 値のグラフ

↑

↑

R 値の一覧

Set parameters 各種設定

Impact direction 打撃角度

Conversion curve 換算曲線

Form factor 形状

Time factor 材齢

Carbonation depth 中性化深さ

Statistic 統計値

Number of measurements 測定打撃数

Mean rebound value 平均 R 値

Mean compressive strength 圧縮強度

Standard deviation 標準偏差

Maximum rebound value 最大 R 値

Minimum rebound value 最少 R 値

Span 最大と最小の差

